

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伝統文化こども教室
事業主体 (連絡先)	新野雪祭り保存会 (金田 栄二 TEL0260-24-2138)
事業区分	(2) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード
総事業費	475,025円 (うち支援金:475,025円)

475000

事業内容

当地に伝承されている、国指定重要無形民俗文化財「新野の雪祭り」の笛10曲と子供の舞を習得させ、同じく「新野の盆踊り」の正しい踊り方、盆唄を覚え音頭櫓の上で唄い、踊れるようにする。郷土の歴史・史跡・民話・伝説を学習してふるさとを知り、郷土を愛する心を育て、祭りに参加することによって伝統文化を継承する心と意識を高めるため、小学校4年生から中学3年生まで76名を対象に25回の伝統文化こども教室を開催した。



自己評価 (事業実施率)

【 A 】

事業効果

- * 雪祭りにおいては、全員が4曲を覚え、中学生7名は10曲すべてを習得し祭り当日は大人の楽人とともに、徹夜で吹いた。子供の舞についても、男子は全員が舞えるようになった。神輿渡御行列には、70名が参加して祭りを盛り上げ地域住民の称賛を受けた。
- * 盆踊りにおいては、76名全員が「子供音頭取り」として参加し小学生は踊りの輪で、中学生は音頭櫓で唄い踊った。
- * お鍛様祭りにも42名が参加して、笛・獅子舞・鍛振り舞伊勢音頭の役目を果たした。
- * 地域の学習では、史跡巡り、郷土史、民話、伝説を聞き理解を深めた。
- * 郷土の祭りに参加することによって、子供も祭りの重要な構成員あることを自覚し、伝統文化の継承に努力しようとする気概が育った。

【目標・ねらい】

- 祭りに参加して笛、舞踊り、唄を覚え住民の前で実行できること。
- 異年齢との交流を通じ地域の一員としての自覚を持つ。
- 郷土の歴史を知り、ふるさとを愛し誇りに思う心を育てる。

自己評価 (目標達成率)

【 A 】

今後の取り組み

- * 伝統文化の伝承は、次代を担うこども達に永続的に行うことが最も重要で、祭りの技能はもとより継承しようとする心を育てて行きたい。
- * より多くの機会を設け、小学校・中学校と連携の中で郷土芸能の伝承と後継者の育成を図りたい。
- * ふるさとを愛し、誇りに思う心の涵養を図る。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。